

なのはな

NPO法人 なのはな
◇あおぞらキンダーガーデン
◇まほろば
◇わとと・あおぞら
〒420-0961 静岡市葵区北226-1
TEL/FAX 054-246-2213
E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp
 npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp
URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

～緑豊かな季節の中で～

春の華やかさから、新緑の饗宴が始まる5月

新しい年度の緊張が、新緑の世界にほっと心を緩ませてくれます。下を向かず緑の出会いを沢山しましょうね。

入園・進級の子も達も少しずつ笑顔を見せてくれるようになってきました。

それは、この人なら（大人でも子どもでも）安心！と思えるようになってきたことと、気に入ったあそびを園生活の中でみつけることが、出来るようになってきたことなんですね。そして落ち着くと緊張がとれ、やっぱりおうちが言いと登園を嫌がることもあります。そんな時は、あわてず相談してくださいね。子ども一人ひとりが、園になれていくには、ノウハウは、ないのでから。

安心してこどもの様子を伝えてください。もちろん持ち上がった子ども達も、同じです。寂しくなったり、相棒活動で悩んだり・・・大きくなることは、新しい出会いに挑戦し乗り越える事で新しい自分を発見し、自信となり力を蓄えていくのですね。ゆっくり・ゆっくり大きくなることを応援していきましょうね。たくさんの笑顔に出会えることうけあいです。

1951年5月5日は、児童憲章が制定された日です。

これは、「子どもは、1人の人間として尊ばれる」事をうたったものです。でも

*3,11以降、お外で遊ぶことが出来ない子ども達があります。

環境が命を脅かすからです。

*子どもが泣いたら叩いたり殴ったり・・・と命を失うこともある虐待（子どもにとって泣く事は、子どもの命に関わる権利です）

どちらも、尊ばれることなく、子どもの人権が守られていない状況です。

人権と言うと堅苦しく関係ないと考えがちですが、本来は、日常の身近にあるものです。

1994年先進国では遅く「子どもの権利条約」を批准した日本の国。

子どもの幸せのシンボルであるこいのぼりが、減ってしまうことのない様、子どもを育てる大人の責任を、こいのぼりを見ながら年に1回は、大人達で我が子のこと、この国の子ども達のこと、そして世界の子どもの達のことを考えることをお勧めします。

きっと子ども達は、しあわせになれます。

こいのぼりのように、すくすく大きくな～れ！

(おか)

あおぞらキンダーガーデン20周年YEAR第一弾！！

★ H25年7月27日(土)13:30～ あおぞらセミナー

「気になる子といわない保育」… どの子も輝く保育創造のために…

講師：赤木和重（神戸大学准教授）、岡村由紀子（あおぞらキンダーガーデン園長・平島幼稚園園長）

対象：保育者、教師など専門職

会場：城東福祉エリア3F

FAX・電話・メールでお申し込みください。代金は当日頂きます。

あおぞらだより

あおぞら卒園生になる 6年生の息子の家庭訪問がありました。

新しく担任になった先生は 国語の教科書「カレーライス」での主人公の心の読み取りが
ハツグンだと褒めてくれました。

「勉強ができる」とか「頭がいい」とかではなく、その先生の言葉はとても嬉しい褒め言葉でした。

その後話は、出身園のあおぞらキンダーガーデンの保育の話になり、

自然や環境を利用しあそびを中心とした保育をしています。

また人との関わりの中で幼児期にしか育てられない感性を大切に育てています。

と話したら、先生は大きくなついで、

「R君の発言が納得できました。一言でいえばR君の言葉は培われてきている言葉です。」

と最後にそろえてくれました。

幼児期の保育が、経験が、小学校で花を咲かせている

そう感じさせてくれる先生の言葉でした。

(ゆうこ)

文部科学省が普通学級における特別なニーズを持つ子どもが6.3%いると発表したのは、平成14年でした。それからもう10年が過ぎているんですね。今、乳幼児期になんらかのフォローが必要と言われている子どもたちは10%～20%と言われています。

10～20%。「なんとなく心配」と思ってお母さんたちはもっているのでは？それは“特別”と言うべきなのか？子育て支援の中で緩やかな、様々な支えが求められているのだと思います。“わとと”“城東”二つの子育て支援センターで、ちょっとでも力になれるといいなと思っています。 <ハル>

赤い羽根共同募金事業

- ・お悩み別ママ集まれ 5/8(水)お母さんから離れない 6/5(水)叩く・噛みつく
- ・子育てよろず相談 5/9(木) 6/13(木)
- ・ころころ教室 5/11(土) 6/ (土)

<ハル>

赤い羽根 助成金今年もいただきました。ありがとうございます！！

このたび、平成24年度の『赤い羽根共同募金』からの寄付金の交付が決定し、で4年目となります。ありがとうございます。

- ・ いただいた金額 360,000 円
- ・ 使いみち 『育児不安に悩む親の相談支援事業』



今年度も、主にわとと・あおぞらを会場に、

お悩み事別 子どもの行動が気になるママ集まれ／子育てよろず相談／親子教室「ころころ」の3つを開催します。日程が決まり次第またお知らせ

わとと・あおぞら

きょうもいるかな～

今年もわとと・ガーデン(継続型一時保育)に2歳児、3人の子ども達が入園しました。

初めての集団生活、4月はじめはママと涙のバイバイの日々でしたが、

1ヶ月経ち、今では「まってるね～」、「おむかえてね～」

おもちゃを片手に気持ちはあそびに向いています。

おさんぽだいすき！の子ども達、帽子をかぶったら“いってきまーす。”

おさんぽ途中の道沿いで、いつもお昼寝中の犬、アロエのちくちく葉っぱがある所、

「おさんぽ来たね～」と声をかけてふれあって下さるおばあちゃん等。

近所に「きょうもいるかな？あえるかな？」のたのしみな出会いを見つけはじめ

おさんぽがますます楽しくなっている3人です。

街中のわととですが、子どもとゆったり歩くと小さなふれあい、出会いがいっぱいです。

<かよ>

城東子育て支援センター あんと

なのはなが、〔あんと〕を運営しはじめて早くも1ヶ月が過ぎました。
どんなかんじかな??楽しみだな・・・という思いでスタート!!
‘アレッ・・・ぜんぜん違う’
‘すごいー、おもちゃが全部木だ、家じゃあ絶対買えないからうれしいー’
‘お昼が食べられるなんて、すごくうれしいー’
とうれしい声が、たくさん聞かれるこのごろです。
今日、絵本の読み聞かせの会がありました。
‘これよんでー’とK君。スタッフともこんなかかわりができるようになり、
♪キャベツの中からの歌のペープサートをやり終えると、欲しくなっちゃって
‘いいよ、一緒につくろう’とスタッフ。お母さんと一緒にかわいく作ったよ。
リピーターおやこもたくさんきてくれます。これからも、のんびりゆったり
過ごせる〔あんと〕作りをしていきたいです。

せり



紙芝居 「ごきげんのわるいコックさん」 / まついのりこ (童心社)

15:00にお迎えがくるカメグループさんのHちゃん、Aくん、Yくんの3人で
「ごきげんのわるいコックさん」という紙芝居をみていたときのことで。

ごきげんが悪くなってうしろを向いてしまったコックさんを見ながら、
T「コックさーんこっちむいてーっていつてみようか」と3人に声をかけると
「コックさーん!こっちむいて!」と呼ぶ3人。

その後も、T「コックさん、ごきげんなおったかなー?」と言うと、
「うーん」と紙芝居を眺める3人。とてもかわいい姿でした。

最後はコックさんもごきげんがなおり、みんなもコックさんが作った
アメをぺろりと食べてにこにこ。

とってもかわいい一時でした。

(めぐみ)